

豊中ブロック会議の開催報告

8月29日(金)10時から豊中地区ブロック会議を開催しました。今回、来年度介護保険が大幅に改正されますので、介護保険制度のしくみと高齢者住まいの現状について、学習会を行いました。私の方から関係資料を配布して説明と質疑応答方式で行い、豊中市の介護相談員の久保木幸代さんと、池田市の介護相談員の木村良三さんからアドバイスを受けました。

主な内容は介護保険は平成12年度に導入されて、3年毎に見直しされて今の7段階の介護度認定方式となっています。介護保険利用ポイントは、65歳以上の方が入院した場合は出来るだけ病院で申請をする。また、40歳以上で、癌、関節リウマチなど16種類の「特定疾病」になった時に申請し認定を受けておくようにする。このことが、介護、医療費用の出費をおさえる事になります。介護保険サービスは、「在宅での利用」「施設入所」「住宅改修と福祉用具購入」など大きく3種類あります。今後、高齢者が住み慣れた地域や自宅で必要なサービスを受けながら生活するには、身体状態や様々なニーズに応じた住まい選びが大切です。そして、現在の資金と今後の収入はどうかなど確認しておく必要があります。来年度の改定内容の説明を行い、参加者19名で意見交換も行き、有意義にブロック会議が終了しました。当日配布した「介護保険」、「高齢者向け住まいどう選ぶ」の資料について、若干事務所に置いてありますので事務所にお立ち寄り下さい。



(清水正弘)

池田市民健康フォーラム<2014>に参加



9月7日(日)前日の大雨も止み、秋晴れ快晴のもと、10時から池田健康フォーラムが池田市保健福祉総合センターで開催されました。例年のとおり、わかばの会はPR用のパネルを掲示し、高齢者疑似体験教室とエンディングノートその他手作り品の販売、ペンシルバルーンの製作指導等を行いました。

この日は高齢者疑似体験教室に池田市長、市会議長がお見えになり、特に高齢者の老眼、白内障用のテストメガネをかけて頂き、色彩変化や、ぼやけて見える色彩カードで色の判別テストをされ、高齢者や目の病気の方の識別が大変だとのこと感想がありました。

販売では女性会員が見学者に声を掛け、同時にペンシルバルーンでお子さん連れの皆さんをコーナーにお誘いし、エンディングノートと手作りの品物の販売を行いました。又、会員の皆さんは各種イベントコーナー(体力測定、歯科コーナー、救命講習等)にも参加、各自の健康チェックの測定等などに参加され、測定年齢と自身の年齢の差を知る等大変好評でした。日曜日にもかかわらず11名の会員のご参加、ご協力を頂き有難うございました。(木村良三)

事務所当番のお願い

事務所当番に入って頂く方が少なく、当番予定表に空白が目立ちます。事務局としても出来るだけ入りますが、皆様のご協力をお願いします。